



東京藝術大学 学長特別補佐・教授

北郷 悟  
きたごう さとる



# 図書館通信

発行 ● 豊島区立中央図書館  
 東京都豊島区東池袋四一五一一  
 ライスアリーナビル四階・五階 〒170-8442  
 電話 ● 〇三―三九八三―七六六一  
 FAX ● 〇三―三九八三―九九〇四  
 ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp/>  
 発行日 ● 平成30年一月



## トピックス

- 巻頭言 東京藝術大学学長特別補佐・教授 北郷悟・・・1ページ
- こどもプログラム ほほ日の学校長 編集者 河野通和・・・1ページ
- 図書館と私 目白図書館長 田中嘉和・・・2ページ
- 生涯の一冊 NPO法人代表者・理事 米原晶子・・・2ページ
- この本がフェ・・・2ページ
- 豊島区と童話 都立産業技術高等専門学校助教 宮田航平・・・3ページ
- こども時代の愛読書 作家・歌人 尾崎左永子・・・3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー・・・4ページ



第47号  
季刊(冬)  
2018

## 「茶の本」から

上野駅公園口から出て10分ほど歩いたところ  
に仕事場がある。東京都美術館を過ぎ古い赤レンガの門柱が見えると我が大学だ。約20年の間、公園の中を一直線に歩いて通勤してきた。

この公園は、ご存知の通り東京都上野恩賜公園である。東京国立博物館や国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、上野恩賜動物園、東京藝術大学、上野の森美術館など20以上の施設があつて不忍池などを含めると55万㎡の公園であり、博物館、美術館には国宝や重要文化財等の芸術資源がある世界でも有数の「文化の杜」としての公園となっている。

明治6年にポードワン博士が上野の山に視察に訪れた際、公園にしましょつと病院設立をあきらめて日本

で最初の公園にしたのが始まりであった。  
 この数年、上野公園には、大きな転機が訪れている。2020年東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたりこの公園のアクセスの良さや文化的なポテンシャルが高いことから各館が協力して日本文化の良さを世界中に伝える事と海外から多くの外国人が来訪する公園にする世界の文化拠点にしようとする計画だ。そして2年前に上野「文化の杜」新構想推進実行委員会が設立され、私はその仕事も兼ねる事になった。最近、公園近くの谷中でも豆腐屋の前に外国人の見物人が増えたそうで、興味は下町や日本の日常にあるようだ。SNS等の発達で名所旧跡めぐりに加えピンポイントの人々の文化を見る観光の姿に変化してきているのだ。世界に伝える日本の文化とは何か? 多様化した現代の中で日本の伝えたい文化はどこにあるのかである。

## マイナンバーカードを活用した図書館共同利用システムに参加しています

## 新航路[44]

新年 明けましておめでとうございます

現在中央図書館では、マイナンバーカードを図書館利用カードとして貸出等を行う国の実証実験(図書館共同利用システム)を実施しています。マイナンバーカードは、社会保障、税、災害対策の3分野で、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されています。この実証実験は、ICチップの空きスペースと公的個人認証の部分を活用して、国がクラウド型の共同利用システムとして整備する「マイキープラットフォーム」を利用し、マイキーIDと図書館サービスIDをリンクさせるものです。

利点としては、現在利用カードの年次更新を行う時に免許証等をご提示いただき、作業に3分程かかっていますが、マイナンバーカードでは自動化できます。また、将来的には、

他の自治体の利用カードはもちろんのこと、公共機関が発行するカードを一枚に集約することが可能です。

デンマークでは、半数以上の図書館で利用者がマイナンバーカードを使い、職員不在の時間帯(8時から10時及び19時から22時)に事前登録した暗証番号を入力して入館し、セルフサービスで自由に図書館を利用する「オープンライブラリー」を導入しています。利用者は、司書が勤務する時間帯にはレファレンスサービスを利用し、セルフサービスの時間帯には資料の閲覧や貸出を行うように使い分けされています。マイナンバーカードは様々な可能性を秘めています。

参考文献: 吉田右子「対話とエンパワーメントを醸成する21世紀の北欧公共図書館」『現代の図書館』vol.52 No.2 2014.6

ある建築家から進められていた事を思い出し、そこで手にした本が『茶の本』である。  
 『茶の本』は、岡倉天心が英文で明治39年に「ニューヨーク」で発行して以来今日まで読み親しまれている本である。書店に行くとき日本語で訳された本が幾つかあつてそれをじっくりと解釈の表現が異なる。  
 茶の湯を染しむことは芸術を感じる事として新たな感性の領域を広げた事でもあり、日常の何も無い空間の中で花一輪を「存在」として表現できる素晴らしい文化がある事を『茶の本』は伝えてくれる。  
 私が上野公園から学んだ歴史と芸術文化を世界に発信するヒントは、茶の湯を知らない自分が『茶の本』から見つけることができたのだ。  
 岡倉天心の『茶の本』は、日本人の美意識について柔軟にリレー的発想を授けてくれる本であった。

## こころコラム

第3回  
 ありがとうございます、  
 言いたくて

ほほ日の学校長 編集者 河野 通和

11月15日から19日までの5日間、六本木ヒルズアリーナで「河野書店」という本屋を開きました。ほほ日が開催した「生活のための展」に参加した59店舗の一つとしてです。店内には、「19歳の本棚」というコンセプトで私が選書した「19歳(かつての19歳を含む)のための」文庫本を30冊、それに「古本X(エックス)」というおたのしみ企画「私たちがそれぞれの書棚から持ち出したお勧め本にひと言×メモを添え、中身がわからないようにしたおみくじ趣向の古本市」などを用意しました。

連日、たいへんな賑わいで、考えられないくらいの本が売れました。それというのも、私とともに店頭に立ったのが、ついでの間まで一緒に雑誌を作っていた同僚です。二人で掛け合いをやりながら、本の紹介を熟すべくしていると、お客さんたちがまあいろいろ話し始めること、しゃべること! たちまち読書相談という名のワイワイガヤガヤの場になりました。本を仲立ちにすると、お互いに間接話法だから、いろんなことが気楽に話せて、こちらも親身になれるのです。

「もうすぐ2学期。学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいらっしやい」と、2年前の8月末に、鎌倉市中央図書館の司書がツイッターで呼びかけたことが話題になりました。そこまで追いつめられた子でなくとも、日常生活に不安や悩みは尽きないもの。ふと本という存在に目が向いた時、誰かがそこにおいて、本を媒介ししながら気がねない会話が交わされたならば、束の間によよ、すいぶん気持ちよくなるはずなんです。今回も実に多くの方が、「勧められた本をすぐに読みました。ありがとうございます、言いたくて」とまた来てくれました。人とのコミュニケーションを渴望する人がこんなに多くいるものか……。本の窓口である図書館にも、こうした期待がますます高まっているのを感じます。

福島県いわき市生まれ、東京造形大学彫刻科卒業、平成2年造船プロジェクト、フォルムデザインにより通産省グッドデザイン受賞、平成6年文化庁作品質上げ、平成19年東京藝術大学美術学部彫刻科教授、28年より同大学学長特別補佐、教授。

# 生涯の一冊

(46)



『太陽の子』  
灰谷健次郎／著  
田畑精一／絵  
理論社 1978年

よねはら あきこ  
**米原 晶子**

1985年、神奈川県生まれ。NPO法人アートネットワーク・ジャパン理事長。フェスティバル/トキョー実行委員。にしすがも創造舎チーフマネージャーを経て、現職。芸術と社会をつなぐプログラムの企画・運営や次代を担う芸術家の育成に取り組む。



## 遠いどこかを、感じさせてくれた本

私が通う小学校には二週間に一度、本を積んだ車が移動図書館として校庭にやって来ました。友人と校庭の遊具に座りながら本を読んだ時間はとても心地よく、幼少期の最も印象的な記憶の一つです。『太陽の子』も、たしか移動図書館で見た本だったと思います。本を開くと、それまで知らなかったことが次から次へと綴られていきました。沖縄の歴史、戦争を経験した方々の動き、家を離れて仕事に就かざるを得ない若者の姿。自分が暮らす日本での出来事とは思えず、息を呑みながらあっという間に

読み終えたと記憶しています。図書館に本を返した後に文庫本を購入し、幾度となく読み返しました。重い歴史の爪痕や深い悲しみを描いたこの物語を、幼いなりに理解したいと思ったのかもしれない。けれども同時に、私はこの作品世界の登場人物になったつもりで本を読み進めるのが、ただ楽しかったです。神戸で沖縄料理店を営む主人公の両親が沖縄を訪れたことがない娘に語る海の青さや、常連客が時々披露する民謡、沖縄に根付く哲学があったかも自分に語りかけられているようで、未だ見ぬ土地

の魅力や想像する喜びが本を読む私の心を満たしてくれました。人々の表情や動きの描写も秀逸で、登場人物達がいづか自分の目の前に現れそうな気さえしました。本を読んで感動した、最初の経験です。旅をしているような、友達ができかけたような気持ちで、読者に抱かせることのできる表現がある。それを知った私は本や映画、舞台など、さまざまな表現に触れたいと思うようになり、いつしか誰かを未だ見ぬ世界に誘う作品のような創作に携わりたいと考えるようになりました。途方にくれるような出来事が現実には起きない時でも、作家や芸術家の表現が世界と向き合う糸口を与えてくれる。そう私に信じさせてくれた本です。



# 図書館と私 33

目白図書館長 田中 嘉和

## 『『赤い鳥』を受け継ぐ図書館として』

現代児童文学の源流となった雑誌『赤い鳥』は、夏目漱石門下の作家、鈴木三重吉によって創刊されました。当時、三重吉は目白地区に住まい、また『赤い鳥』の発行主体である赤い鳥社は三重吉の住居にありましたので、目白は『赤い鳥』創刊の地、ということになります。

地域資料収集方針により当館では『赤い鳥』復刻版全冊を中心に、鈴木三重吉や関連する作家の書籍、研究資料を所蔵しています。

この『赤い鳥』が創刊されたのは1918年、本年が創刊100年に当たります。これから各方面で『赤い鳥』をテーマとした企画が行われていきますが、目白図書館でも、この文化資産を次代へと引き継ぐための取り組みを行っていきます。

プロジェクトはまだ茫洋としたものですが、軸の一つは『赤い鳥』から現代児童文学への流れを、豊島区の中でつなぐことです。というのも、三重吉門下生と言える坪田譲治は、戦後、童話雑誌『びわの実学校』を西池袋の住居で発行し、今も読み続けられる児童作家を輩出しま

した。『赤い鳥』のバトンが、この地で確かに受け渡されたのです。

しかし、坪田譲治と『びわの実学校』、さほど古い話ではないにもかかわらず、その記憶は地域から失われつつあります。『赤い鳥』から『びわの実学校』へと連なる事象・事柄をたどる断片であっても、いま記録にとどめ、いつでも、誰もが使える電子資料として整えていくことは急務なのだと思っています。

私自身はもともと児童文学が好きで、絵本や児童書を集集し、ささやかですがその良さを伝えていました。これら児童文学の成り立ちに『赤い鳥』があることは知っていたものの、目白で誕生し、創刊100年というタイミングであることは、目白図書館に勤務することになって初めて知りました。

「赤い鳥に呼ばれたのかな？」というかなり不遜な思いを胸に収めつつ、「赤い鳥プロジェクト」という新たなバトンを、今度は目白図書館が地域に受け渡せれば、と夢見ています。



12  
杯目

## 今回のテーマ 十八番

十八番と書いて「おはこ」。歌舞伎の七代目市川團十郎が市川家代々の芸から十八種類を選び、『歌舞伎十八番(歌舞妓狂言組十八番)』を天保3年に発表しました。そしてこの作品台本を箱に入れ保存し、それを本物だと認定するための「箱書き」を、「おはこ」と呼ぶようになったともいわれます。さらに意味が転じ、人や集団のもっとも得意とする芸や技、特徴などを指すようになりました。皆さんの「おはこ」は何ですか。



### 書名 『十八番の噺(落語家が愛でる噺の話)』

春風亭昇太 柳家喬太郎 等11名／著 フィルムアート社 2017年

日本テレビの日曜の番組「笑点」は見るけれど、落語はあまり聴いたことがない人…そうあなた! 春風亭昇太さんは新作落語家だって知ってましたか。本書は、二つ目から真打ちまで11人の演者が作品について語った噺家の話し集。えっ、本の内容!? いけねえ、どこかに落としてきたかな。最近ぼけが…そう、さつき池袋演芸場に寄ったから、そう、きつとあそこだな。

⇒【酒井 一夫(さかい かずお)】



### 書名 『定年男子 定年女子 45歳から始める「金持ち老後」入門!』

大江英樹 井戸美枝／著 日経BP社 2017年

日本人と言えば「長寿」。人生百歳時代を迎えた現在、老後の生活を考えることは、国民の必須課題です。元金融マンで経済コラムニストの年金男子と日本イテ年金通の社会保険労務士の年金女子。二人のお金のプロが「年金生活」を始めて分かった事実を、易しく教えてくれます。備えあれば、憂いなし。新しい年の始まりに、「金持ち老後」が「貧乏老後」かをチェックして、明るい前向きに、幸せで楽しい人生を目指しませんか?

⇒【砂塚 寛子(すなづか ひろこ)】



### 書名 『ちびまる子ちゃんの 暗誦百人一首 暗誦新聞入り』

米川千嘉子／著 キャラクター原作・さくらももこ 集英社 2003年

好きな和歌は? と聞かれ、暗誦できる一首はありますか。鎌倉時代に編さんされた「小倉百人一首」は、江戸時代に「かるた」となり庶民へと広がりました。歌人一首の「かるた取り大会」はお正月の風物詩です。古典文学の基礎知識や、歌に込められた心情を味わうための4コマ漫画も織り込まれた本書。著者は、第31回角川短歌賞受賞の歌人です。受験勉強だけでなく、「古」の日本人の生活と感性を知る読み物としても、おすすめです。

⇒【佐藤 壮広(さとう たけひろ)】



寄稿者はとしまコミュニティ大学の学習者の内、登録して学んでいる「マナビト生」です。マナビトゼミ担当の人類学者佐藤 壮広氏の指導のもと、毎回テーマに合わせて文学、児童書、評論や科学などの分野からお薦め本を1冊紹介しています。

# 豊島区

全3回 最終回

# と童話



宮田 航平

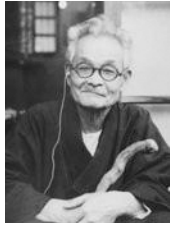
〈著者プロフィール〉  
東京都立産業技術高等専門学校ものづくり工学科助教。研究分野は日本近代文学(児童文学、国語科教育、論文)「又字」の在りか(『3.11』後から「児童文学」を考へるために)、『3.11』後の表現を考へる。立教大学日本学研究所(2017年)がある。

## 「豊島区と童話」が受け継ぐもの

ー 坪田譲治「びわの美学校」 ー

### ■豊島区と坪田譲治

1890(昭和23)年、岡山県御野郡石井村大字島田(現・岡山市島田本町)に生まれた坪田譲治は「豊島区」の関係は、1916(大正5)年に始まります。前年に早稲田大学を卒業した譲治は、神奈川県茅ヶ崎のサナトリウム・南湖院で出会った前田ナミコ(浪子)との結婚を機に、北豊島郡高田村大字維司ヶ谷で新生活をスタートさせます。



岡山シティミュージアム蔵

当初は夫婦2人の借家暮らしで、雑誌の編集や翻訳の仕事をしていましたが、12月には長男・正男が誕生し、高田村大字小石川字狐塚(現・西池袋2丁目)に家を新築したことで、晩年までの多くを「豊島区」で過ごすごたことになりました。

### ■小川未明「青鳥会」

譲治は大学の卒業論文に「フカライオ・ハーンを選びましたが、それは師・小川未明と同じ選択でした。」

大学在学中より未明に師事した譲治は、メーテルリンク「青い鳥」にちなみで名付けられた未明主宰の「青鳥会」に参加し、持ち寄った作品を批評し合ったようです。さらには「黒煙」や「地上の子」といった同人雑誌も立ち上げて、創作活動に取り組み始めます。

ただ、時を同じくして実家のランプ芯製造会社・島田製織所をめぐる騒動などから、家業を手伝う必要が生まれました。1919(大正8)年には岡山本社、その翌年には大阪支店に一家で移りますが、1923(大正12)年4月に再び上京することが叶って、いよいよ創作活動を本格化させていくのです。

### ■鈴木三重吉「赤い鳥社」

譲治には、未明の他にもう一人の師がいます。それは、児童雑誌『赤い鳥』主宰の鈴木三重吉です。

これまでの回でも見てきたように、「赤い鳥」(1918-1936年)は「豊島区と童話」を考へるうえで欠かせない存在です。そして「豊島区」に住んでいた譲治も、大変多くの作品を発表しています。しかし、譲治作品が誌面に登場するのは、1927(昭和2)年6月号の「河童の話」を待たねばならず、それは発行元の「赤い鳥社」が区外に移転した後のことでした。

じつは、譲治と「赤い鳥」の出会いが、創刊当初まで遡ることが出来ます。「赤い鳥」は買って読んでいました。というの、この家のちよつと先に、赤い鳥社というのがありました。「坪田譲治童話研究」岩崎書店、1986年。

「赤い鳥社」は、たびたび移転するのですが、創刊からしばらくの間を「上り屋敷時代」と呼ぶように、譲治にとって「赤い鳥」は、当初から「近い」存在だったのです。そして実際に作品を発表していく時期には、三重吉から大幅な添削も受けなが

ら、「童話」を鍛えていきました。

※上り屋敷は、江戸時代の猫場の休息所のごとで、たごえは現在も「上り屋敷公園」(西池袋)のよう「名前が残っています」。

### ■羽仁もと子・吉「婦人之友社」

さらに地理的・時代状況からは、「婦人之友社」との「近さ」も見えてきます。羽仁もと子・吉「夫妻による「婦人之友社」は、現在まで続く雑誌『婦人之友』(1908年)で知られていますが、1914(大正3)年には児童雑誌『子供之友』を創刊します。また1921(大正10)年には、豊島区の自由教育運動の一翼を担った新学校「自由学園」を創立します。これらの一連の出来事は、譲治の家の目と鼻の先(現・西池袋2丁目)で起こったのです。

こうして「豊島区と童話」の土壌が整備されていく中で、譲治初の童話作品である「正太の汽車」は、「赤い鳥」への作品発表に先行して、1926(大正15)年1月号の「子供之友」に掲載されたのです。つまり当時の児童文化運動は、自由教育運動などを含む「大正デモクラシー」の「風の中の子供」として生まれたのです。「豊島区と童話」は、そのことを改めて教えてくれます。

### ■童話雑誌『びわの美学校』

晩年の譲治が辿りついたのも、ある種の「学校」を作ることにした。

1963(昭和38)年に「赤い鳥」を意識しながら創刊した童話雑誌『びわの美学校』には、多くの児童文学作家が集うとともに、戦後日本を代表する作家や作品を生み出していきます。その中には、たとえば譲治のリアリズム的な作風とは大きく異なる、あまなきみこのような存在もいました。

戦後の児童文学は、それまでの「童話」の克服を目指していったとされています。しかし「びわの美学校」は過去の「童話」を受け継ぐことになって、かえって新たな作品を生み出していったのです。では、そこで受け継がれた「童話」とは一体何だったのでしょうか。その答えは、また個々の作品の中に眠っています。

## こども時代の愛読書(全3回)

最終回 『ばらいろ鳥』

作家・歌人 尾崎 左永子

戦争がだんだん激しくなった少女期に、私はその可愛らしい一冊を手に入れました。当時は珍しい四角い形の小型本で、背表紙の蔷薇色の布と表紙の薄クリーム色、野にも蔷薇色が使ってたかと思えます。国会図書館には収蔵されているようですが、現在の私には確かに行き体力がないのが残念です。

作者はパリの詩人で劇作家のヴィルドラック。主人公のチフェルナンは、パリの貧しい町に住む、ごくふつうの少年です。

人にはなぜか、何をしても失敗ばかりの日があつて、彼は学校で意地悪な先生には散々叱られるし、風邪気味のお母さんの薬を買いに出れば瓶を落として割ってしまうし…。途方にくれる彼を救ったのは、子どもたちの楽園を作っている紳士ウァンサン氏でした。やがて眠っているうちに「ばらいろ鳥」に招待されたチフェルナンは、見るもの聞くもの、みんな楽しくて嬉しくて、心弾む毎日を送っていました。しかし、島の先生方の話を漏れ聞いた彼は、パリの母が病気がたつことを知ってしまいます。そして、小さなボートで嵐の海を渡つたとして、危うく島の先生方の飛行機によって救われる…飛行機から吊り籠を下ろして、女の先生が気を失った彼を嵐の海から救い出す挿絵があつたのを覚えていま

す。子どもにとって、ただ楽しく、物に満たされただけで幸せなのか、家族愛がどんなに大きいものか、お金持の大人の考へる。子ども達の楽園、の夢も、実際には子ども達の思いとは必ずしも一致しない、そのことを作者は言いたかつたのかもかもしれません。

戦中戦後の移転の中で、大切なこの本を失って久しいのですが、いまだに深い印象が残っています。後の「講談社少年少女世界文学全集」の中に入っているようですが。



『ばらいろ鳥』  
ヴィルドラック原作 木村太郎訳  
中央出版社(現・サンパウロ)  
1963年(所蔵:中央区立京橋図書館) ※尾崎さんの読まれたのは1936年発行の小山書店版。



# 図書館イベント情報

★…児童・あかちゃん向け ●…一般向け

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

- 各図書館の連絡先
- 中央図書館 3983-7861
  - 駒込図書館 3940-5751
  - 巣鴨図書館 3910-3608
  - 上池袋図書館 3940-1779
  - 池袋図書館 3985-7981
  - 目白図書館 3950-7121
  - 千早図書館 3955-8361
  - 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	1月	2月	3月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 14:00	最終日曜日 10:30 11:30	★7日・かるた大会※ 14:00~15:00 ★20日・豊島岡女子学園おはなし会 14:00~14:30 ★28日・美鴨朝子読書会おはなし会 14:00~14:30	★4日・おはなしこうさく会 14:00~14:30	★4日・おはなしこうさく会 14:00~14:30
駒込図書館 こまちゃんへのや (※印は地域文化創造館)	土曜日 15:00	第1水曜日 11:00※ (1月は10日)	★13日・かるた大会※ 14:00~15:30 ●27日・さくらコンサート~ゴスペルVer.~※ 14:00~15:00	●24日・パパが語る~本がつなく親子コミュニケーション※ 13:30~15:00	
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 15:30 (1/3はお休み)	第3火曜日 11:00	★10日・カルタ大会 15:30~16:00 ★31日・ほんのじかん映画会 15:30~16:00	★7日・ほんのじかん紙芝居の日 15:30~16:00 ★28日・ほんのじかんスライド 15:30~16:00	★7日・ほんのじかん工作会 15:30~16:00 ★21日・ほんのじかん映画会 15:30~16:00
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は地下ホール)	水曜日 15:00 (1/3はお休み)	最終水曜日 11:00※	★10日・カルタ大会※ 15:00~16:00 ★27日・親子で楽しむ映画会※ 「しっぺい太郎」ほか 14:00~14:30	★24日・親子で楽しむ映画会※ 「ふるやのもり」ほか 14:00~14:30	
池袋図書館 ワークルーム (※印は区民集会所)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00 (1月は10日)	★6日・カルタ大会 14:30~15:30 ★13日・たんぼぼこうさく会 14:30~15:30 ●17日・読み聞かせ講座※ 11:00~12:00 ●21日・バリアフリー映画会※ 「武士の家計簿」13:30~15:30	★10日・たんぼぼこうさく会 14:30~15:30 ★24日・おはなしたんぼぼスペシャル 14:30~15:30	★10日・たんぼぼこうさく会 14:30~15:30 ●14日・読み聞かせ講座※ 11:00~12:00 ●21日・ピアノバトル※ 14:00~15:30 ★31日・かがくのおはなし会 14:30~15:30
目白図書館 地下区民集会所	水曜日 15:00 (1/3はお休み)	第1水曜日 14:00 (1月は10日)	★20日・かるた大会 15:00~16:00		★28・29日・絵本づくりワークショップ 13:00~15:00
千早図書館 視聴覚室	水曜日 15:30 (1/3はお休み)	水曜日 10:30 (1/3はお休み)	★10日・かるた大会 15:30~16:00	★14日・ほんどこ工作会 15:30~16:00	★3日・土曜日のほんどこおはなし会 15:30~16:00

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

## 書評講座

～ポップで表現！私に響いたこの本 Ⅲ期～

おすすめの本を持ち寄り、書評の書き方をレクチャー、文章添削ののち、オリジナルポップを作成します。本が好きで、本について語り合いたい人はぜひお申込みください！ポップは中央図書館に展示します。



- 【日 時】 12月13日(水)、1月10日(水)、2月14日(水)  
いずれも午後6時～8時  
【場 所】 中央図書館5階会議室  
【講 師】 佐藤社広氏  
(書評家、人類学者、立教・大正大学非常勤講師)  
【定 員】 まだ定員に余裕がありますのでぜひ2回目からご参加ください。  
【参加費】 1,000円(高校生以下500円)

## 豊島区子どもの読書に関する講習会

### 「楽しさいっぱい！おはなし会」

絵本を中心にしたおはなし会の中で、パネルシアターやペープサートなどをどのように取り入れたらよいか、具体的に実演していただきながら、制作や演じ方のコツなどを織り交ぜてお話しいただきます。



- 【日 時】 2月20日(火) 午後2時～4時  
※開場1時45分  
【場 所】 あうるすぽっと会議室B  
【講 師】 阿部恵氏(道灌学園保育福祉専門学校保育部長)  
【対 象】 区内の教育・福祉施設などで子どもたちに読み聞かせの活動をしている方。または、子どもの本や読み聞かせに関心のある方(区内在住・在勤・在学)。  
【定 員】 先着50名(1月11日午前10時受付開始)  
【参加費】 無料  
【保 育】 6ヶ月以上未就学児 先着5名(保育のみ1月31日申込締切)  
※保育を希望される方は、電話でお申込みください。

## 豊島区立郷土資料館学芸員に学ぶ

### ソメイヨシノの誕生と染井の植木屋

桜の代表的品種であるソメイヨシノは、豊島区が発祥の地とされています。普段は知る機会の少ないソメイヨシノの歴史的背景やアカデミックなことまで、秋山学芸員に詳しくお話しいただきます。

- 【日 時】 2月11日(日) 午後2時～3時30分  
【場 所】 駒込地域文化創造館第二会議室  
【講 師】 秋山伸一氏(学芸員)  
【定 員】 先着30名(1月21日より受付)  
【参加費】 無料  
【申 込】 駒込図書館カウンター・電話 3940-5751

## 探偵作家 飛鳥高展 開催中

江戸川乱歩の隣に住んでいた日本探偵作家クラブ賞受賞作家、飛鳥高展さん(1921年2月生まれ96歳)の特集展示を開催中です。飛鳥さんは、コンクリート関連の研究で日本建築学会賞を受賞され、サラリーマン探偵作家との異名をお持ちでした。



- 【会 場】 中央図書館5階特別展示コーナー  
【期 間】 平成29年12月23日(土)～平成30年2月22日(木)

## 書評講座・講習会【申込方法】

- 受付時間：午前10時～午後6時  
氏名・住所・緊急時の連絡先(電話番号とメールアドレス)を明記の上、下記のいずれかの方法でお申込みください。  
●電話：3983-7861 ●FAX：3983-9904 ●メール：A0027900@city.toshima.lg.jp  
●来館申込：中央図書館5階の事務室までお越しください。

開館時間	中央図書館	駒込・上池袋・千早図書館	巣鴨・池袋・目白図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
平日 午前10時～午後10時 土日祝 午前10時～午後6時	●駒込・上池袋● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時 ●千早● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ※駒込図書館は、平日は、午前8時から資料の返却と、予約資料の受取りができます。	●巣鴨● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ●池袋・目白● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時	平日 午前10時～午後7時 土日祝 午前10時～午後5時	
○は土日祝の開館時間 ■は休館日	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1月	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
2月	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
3月	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

## 図書館カレンダー

### 千早 進歩 自由 夢

◆2月 落語会

日時 2月10日(土)午前10時～12時  
※開場9時30分

出演 さんゆうてい 三遊亭 悠輝

演題 演題は当日のお楽しみ(古典落語から2題予定) そのほか、落語に関する話

定員 先着50名 ※小学生以上

会場 千早図書館2階 視聴覚室  
問い合わせ 千早図書館 ☎3955-8361

### 脱出ゲーム For ビギナーズ

～Alics in Library～

【日 時】 2月23日(金) 午後6時～8時  
【場 所】 中央図書館  
【定 員】 2人1組・10組まで(2月1日より受付)  
【参加費】 無料  
【申 込】 電話 3983-7861(午前10時～午後6時) または、直接来館

▶巻頭言は、豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会委員でもある北郷悟氏にご寄稿いただきました。現代の文化・芸術発信のヒントにもなった『茶の本』、読んでみます(狩野)  
▶本号で3頁の2コーナーが最終回を迎えてしまいました。執筆いただいた先生方ありがとうございました。次号からは新連載がはじまります！(高松)